

国際自動車整備科			2026年度 授業計画			
時期	1年A巡	単元	学科	教科名	自動車一般A	
科目	学科	教科書等 持参品	内製テキスト		発行日	2026.3.18
			授業ノート			
総時限	44時限		ビジネスマナーテキスト		教科 担当	佐藤 祐之
総時間	52.8時間					後藤 雄祐
単位数	3					
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当						
自動車整備士として実務経験がある教員により、自動車全般（エンジン、シャシ、電装）の構成、構造およびビジネスマナーについて指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
①日本語による自動車の各装置の構成、構造についての説明内容を理解する。 ②日本語による自動車業界の基礎知識についての説明内容を理解する。 ③日産サービスの「サービスのねらい」、「ビジネスマナー」を理解する。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
2年次からの授業で使用する教科書の内容が読めて、理解できるようになる。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。 60点以上で合格						
2) 出題試験項目						
①授業ノートから出題、問題文のひらがなに適する漢字を語群から選び記入させる。 ②授業ノートから出題、穴埋め問題を語群から選び記入させる。						
5. 準備学習						
日本語トレーニングの適宜実施						
6. 学修時間と単位						
本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。 1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。						

時期	1年A巡	単元	学科	教科名	自動車一般A	
7. 業概要 (時限ごとの主な授業内容)					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	エンジン	概要			内製テキスト	
2		エンジンの原理			授業ノート	
3		エンジン種類と分類①			ビジネスマナーテキスト	
4		エンジン種類と分類②				
5		エンジンの作動① (吸入行程、圧縮行程)				
6		エンジンの作動② (燃焼行程、排気行程)				
7		エンジン本体 1 (シリンダ・ヘッド)				
8		エンジン本体 2 (シリンダ・ブロック)				
9		エンジン本体 3 (ピストン、ピストン・リング)				
10		エンジン本体 4 (コンロッド)				
11		エンジン本体 5 (クランク・シャフト)				
12		理解度確認				
13	シャシ	概要				
14		自動車の基本性能①				
15		自動車の基本性能②				
16		路面との摩擦があるから走行できる 1				
17		路面との摩擦があるから走行できる 2				
18		路面との摩擦があるから走行できる 3				
19		ホイールとタイヤ 1				
20		ホイールとタイヤ 2				
21		ホイールの呼び、表示の見方				
22		タイヤの呼び、表示の見方				
23	理解度確認					
24	電装	概要				
25		半導体 1 ダイオード				
26		半導体 2 ツェナ・ダイオード				
27		半導体 3 発光ダイオード				
28		半導体 4 フォト・ダイオード				
29		白熱電球、ハロゲン・バルブ 1				
30		白熱電球、ハロゲン・バルブ 2				
31		灯火装置 1 (照明用)				
32		灯火装置 2 (標識用)				
33		灯火装置 3 (信号用)				
34	理解度確認					
35	業界知識	概要				
36		日産サービススタッフの狙い (目的) とは 1				
37		日産サービススタッフの狙い (目的) とは 2				
38		ニーズの把握と対応 1				
39		ニーズの把握と対応 2				
40		グループワーク (課題: CS向上への活動は、なぜ重要なのか)				
41		グループワーク 発表				
42	理解度確認					
43	まとめ 1					
44	まとめ 2					